



ボッシュ、SUPER GT のオフィシャルスポンサーに 日本最大級のレースシリーズを通じてモータースポーツの発展に寄与

2019年11月22日
C/CGR-JP-2019-22

- ▶ 2020年～2022年の3年間にわたるスポンサー契約
- ▶ GT500クラスのマシン全15台にボッシュのコンポーネントを搭載
- ▶ ボッシュのロゴをGT500クラスのマシン全15台などに掲示
- ▶ ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバー マルクス・ハイン:「このスポンサー契約は、経済的にも技術的にも重要な市場である日本との結びつきを反映しています」

東京 –ボッシュはこのたび、株式会社 GT アソシエーション(代表取締役 坂東 正明 以下 GTA)と国内最大級の自動車レース「SUPER GT」におけるスポンサーシップ契約を締結しました。契約期間は2020年から2022年までの3年間です。「日本で最も重要なレースシリーズに参画することは、ボッシュにとって戦略的に重要な意味を持ちます。このスポンサーシップ契約は、経済的にも技術的にも重要な市場である日本との結びつきを反映しています」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバーのマルクス・ハインは述べています。ボッシュはまた、SUPER GT シリーズ GT500クラスのマシン全15台、ならびにセーフティカーやファースト・レスキュー・オペレーション車両、プログラムやポスター、表彰台のバックボードなどにロゴを掲示します。

ボッシュは2000年より、ドイツ ツーリングカー選手権(DTM)のオフィシャルパートナーとして、DTM 指定のコンポーネントを全マシンに提供しています。今般の SUPER GT とのスポンサーシップ契約により、ボッシュは DTM と共通の「CLASS 1」車両規定である GT500クラスのマシン全15台に、多岐に渡る共通コンポーネントを3年間にわたり提供することとなります。なお、提供が決定しているのは、マルチディスプレイ、エンジンコントロールユニット、各種センサー、スターター、インジェクター、パワーボックス、高圧ポンプ、オルタネータ、ワイパーモーター等で、いずれも DTM のマシンにも共通コンポーネントとして搭載しているものです。「SUPER GT シリーズに参戦する日本の自動車メーカーにも、ボッシュがこのシリーズの将来を確保するとともに、技術的にもより魅力的かつダイナミックなものになりたいと考えていることがお分かり頂けるかと思います。最終的には、SUPER GT シリーズへの参画が、ボッシュの今後の内燃機関の部品開発においてシナジー効果をもたらすでしょう」と、ハインは述べています。

ポッシュは長年にわたりモータースポーツの発展に貢献し、常にレースという過酷な環境に耐えうる最先端の技術を提供しています。DTMをはじめとしたモーターレースの要望に応じてきた経験により、ポッシュは GT500 クラスのマシンに最高レベルのパフォーマンスとコスト抑制を実現するコンポーネントを提供します。2018 年には、世界初のシングルシーターの電気自動車によるカーレースシリーズである ABB FIA(国際自動車連盟)フォーミュラ E 選手権へのスポンサーシップを発表するなど、幅広いパワートレインタイプのモータースポーツの発展に寄与しています。

「スポンサーシップ契約ならびに SUPER GT GT500 へのコンポーネント提供を通じて、モータースポーツの発展に貢献できることを、大変光栄に思います」と、ポッシュ株式会社の代表取締役社長であるクラウス・メーダーは記者会見で述べています。「ポッシュは 1901 年よりカーレースに参戦するマシンに製品を提供するなど、モータースポーツとの関わりは長きにわたります。過酷なレース環境に耐えて安定性が実証された製品を量産車に提供するなど、モータースポーツへの貢献は、より安全で効率的かつ魅力的な量産車の開発に向けた技術力の向上にも繋がっています」と、メーダーは続けました。

GTA の坂東 正明氏は、次のように述べています。

「CLASS1 規則では数多くの共通部品を採用しますが、その使用はコスト低減、性能均衡化の実現のみならず、DTM と SUPER GT のコラボレーションを深化させるため、双方にとって大変意義があります。そのサプライヤーのひとつ、ポッシュの卓越した技術、製品精度の高さ、信頼性は DTM はじめ世界中の様々なレースで実証済みです。ポッシュをオフィシャルスポンサーとして SUPER GT にお迎えできることを私たち GTA は大変うれしく思っております。」

なお、ポッシュのコンポーネントを搭載したマシンは、2020 年 4 月 11 日・12 日に岡山国際サーキットで開催される開幕戦から登場する予定です。

ポッシュは今後も、モータースポーツの発展ならびに自動車技術全体の向上に寄与してまいります。

報道関係対応窓口：

角谷 清彦

古市 愛子

電話：03-5485-3393

日本のポッシュ・グループ概要

日本のポッシュはポッシュ(株)、ポッシュ・レックスロス(株)、ポッシュ パッケージングテクノロジー(株)その他の関係会社から構成されます。ポッシュ(株)は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ポッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FA モジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。ポッシュ パッケージングテクノロジーは包装機械メーカーおよびインスペクション・テクノロジーの開発を行う会社です。さらにポッシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命や建

築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。2018年の日本のボッシュ・グループの第三者連結売上高は約3,250億円で、従業員数は約6,800人です。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2018年の従業員数は約41万人(2018年12月31日現在)、決算報告での売上高は785億ユーロ(約10兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドドライブに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社460社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界130の拠点で約6万8,700人の従業員が研究開発に携わっています。

*2018年の為替平均レート:1ユーロ=130.92534円

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式YouTube (日本語)